

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	チーム医療推進事業（チーム医療・在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業）		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度～		担当課室	看護課		課長:岩澤和子		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	「チーム医療の推進について」(平成22年3月19日 チーム医療の推進に関する検討会取りまとめ)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みを構築する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	専門的な臨床実践能力を有する看護師の従事する施設から当該看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証する。 (委託先)医療機関							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	<del>22年度</del>	<del>23年度</del>	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	<del>22年度</del>	<del>23年度</del>	92	107	51	
		繰越し等	<del>22年度</del>	<del>23年度</del>				
		計	<del>22年度</del>	<del>23年度</del>	92	107	51	
	執行額	-	-	69				
	執行率(%)	-	-	75%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	包括的指示を受け、看護業務を実施する看護師数				-	-	32	97
			達成度	%	-	-	94.1%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	実施施設数 ※平成24年度在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業			か所	-	-	25	57
				( - )	(25)	(40)		
単位当たりコスト	2,778,640(円/か所)		算出根拠	執行額/実施施設数 69,466,000円/25か所				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	指導者手当	48	23	対象施設数の減による削減。				
	謝金	12	6					
	賃金	23	11					
	旅費	15	7					
	消耗品費等	10	6					
	計	107	53					

事業所管部局による点検					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現は、ひいては看護業務の安全性の確保に繋がり、国民のニーズが高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、国が行うべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	○	医師又は歯科医師の指示の下、プロトコールに基づき、診療の補助のうち、実践的な理解力、思考力及び判断力を要し、かつ高度な専門的知識及び技能をもって行う必要のある行為を行おうとする看護師の研修制度の実現に向けて、看護師による業務の実施状況等の検証を行うものであり、優先度が高い事業となっている。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	当事業に必要な経費のみを対象として基準額を定めており、それ以上にかかる経費については受益者の負担としているため妥当である。		
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○	当事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	当事業に必要な費目・使途のみに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	施設により事業開始時期にばらつきがあり、当初予定していたより執行額が少なかったため。		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	実施件数は見込どおりとなっている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	成果物はチーム医療推進会議において結果を公表している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
	-	-	-		
点検結果	当事業は、専門的な臨床実践能力を有する看護師が医師の包括的指示を受け、看護業務を実施できる仕組みを構築することを目的としている。平成24年度、平成25年度ともに当初見込み通り一定の事業実施数はあるが、今後の執行状況を踏まえ、事業の見直し等を検討したい。				
	外部有識者の所見				
執行率が低いことから、地公体における事業実施状況を正確に把握し、事業推進を指導するなど事業を改善する必要がある。(長崎、井出)					
行政事業レビュー推進チームの所見					
容事善の業改内	チーム医療推進事業(チーム医療・在宅医療推進のための看護業務の安全性等検証事業)については、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
縮減	予算と執行の乖離については予定していた施設数より、事業を実施する施設数の減によるものが主な理由であることから、平成26年度概算要求では、外部有識者・行政事業レビュー推進チームの所見及び過去の執行状況並びに今後の検証実施病院の状況を踏まえ、対象箇所数の見直しにより減額要求した。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	新24-0005	平成24年	新24-0004

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省  
69百万円

【補助】

A. 医療機関(25)  
69百万円

事業内容  
・看護師の従事する施設から看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 においてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.独立行政法人国立病院機構九州医療センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
給与費	指導医人件費等	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人国立病院機構九州医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構災害医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構普通寺病院	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構東京医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構水戸医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センター	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	公益社団法人地域医療振興協会	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		
1	日本赤十字社栃木県支部	看護師等の業務の実施状況等に関する情報の報告を受け、業務の安全性等を検証	4		

※支出額同額 その他6施設あり